

# GB 345号 ゲートボールニュース 2014年 7月

## 128チーム出場、1位競う

### 第18回全伯選抜GB選手権大会

第18回全伯選抜ゲートボール選手権大会(ブラジルゲートボール連合主催)が5、6日の両日、サンパウロ市内のブラジルゲートボール連合スタジアムで行われた。壮年組はカウアイアチーム(松本アンドレ主将)がグアイラチム(加藤ジェイゴ主将)を破り、高齢者組はウルマAチーム(イラミナ・タカシ主将)がトサンチーム(山岸貞夫主将)に勝ち、それぞれ優勝した。



高齢者組優勝のウルマA



壮年組優勝のカウアイアA

同大会は、サンパウロ市「トボーラーの日」を記念一部から選ばれた高齢者組が制定した27日の「ゲイ」する大会でもあり、21支(70歳以上)72チーム、壮年組(年齢制限なし)56チームの合計128チームが出場。

5日午前8時から開会式が行われ、出場者約700人が入場行進を行い、来賓にはアルナルド・フアリア・デ・サイード、野村アウレリオサンパウロ市市議、上原啓三宮坂国人財団専務理事、尾西貞夫援協副会長、鈴木雅夫サンパウロ新聞社長らが出席した。

菅原和司副会長が開会の辞を述べ、小賀誠二ブラジルゲートボール連合会長が歓迎のあいさつを行い、来賓あいさつ、そして優勝旗返

また、開会式では、先ごろ完成したスタジアム内のトイレの建設費を提供した野村市議にお礼を述べるとともに記念プラッカの除幕式が行われた。

野村市議は「皆さんのお役に立てて光栄です。いつまでもお元気でゲートボールにいらしてください」と選手たちを励ました。

5日には予選リーグ戦が行われ、翌6日も午前中は予選リーグ戦が行われ、各コート4チームがトーナメント戦に勝ち進んだ。

成績結果は次の通り。  
【高齢者組】  
優勝IIウルマA(T・イラミナ)、準優勝IIトサン(S・ヤマギシ)、3位IIカロンキョウユウA(A・ナガミネ)、3位IIサンジョゼ・ドス・カンポSD(S・ワカガワ)

選、大会参加高齢者(88歳以上)賞の授与(14人)と続き田舎輝生競技部長から競技場の説明が行われ、本多八郎審判部長から審判に関する注意が行われ、試合開始となった。

「プレーするのは好きだけど、審判はやりたくない」と言うゲートボーラーが多い。審判はコート内を走り回らなければならないことを考えるとプレーしているほうが面白いのに決まっている。しかし、それではないのだろうか。

ゲートボールの特徴は大会では2チームが対戦し、ほかのチームの3人が審判にあたり、選手と審判を交互に行うことだ。相互審判制が適用されないのは世界大会のような国際大会だけに限られる。世界大会

では専任審判が付くたため、選手は試合に専念できる。ところが、一般に行われる親善試合などでは、競技者が審判を行うことは義務であり、道徳でもある。試合進行をスムーズに行い、いさかいや間違いがなく選手が気持ちよくプレーに専念するために審判の的確な判断が無ければ実現しない。

## ゲートボールの試合における審判の重要性

このため、優秀な審判はゲートボールの試合では不可欠で重要な存在であることを認識しなければならぬ。

### 第25回南マット・グロッツ

南マット・グロッツ支部(荒谷義明支部長)は第25回南マットグロッツ

カンポ・グランデ  
連合杯大会を6月29日、カンポグランデ野球協会で開催した。高齢者組13

優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【壮年組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【高齢者組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【壮年組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【壮年組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【高齢者組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)

【壮年組】  
優勝IIカウアイアA(A・マツモト)、準優勝IIグアイラ(D・カトウ)、3位IIマチルデC(百・シゲトミ)、3位IIトサン(T・サコタ)